



UPDATER, INC.



2024年10月24日
九州旅客鉄道株式会社
株式会社UPDATER
GPSSホールディングス株式会社

JR九州初！駅舎等へのオフサイトコーポレートPPA実施 ～九州内太陽光発電所の新規開発及び駅舎等への再エネ供給～

九州旅客鉄道株式会社（以下、JR九州）、株式会社UPDATER（以下、UPDATER）、GPSSホールディングス株式会社（以下、GPSS）は、オフサイトコーポレートPPA^{※1}をJR九州で初めて活用し、**在来線長崎駅や新八代駅などの新幹線駅舎を含む18箇所の駅舎等施設へ再生可能エネルギー100%^{※2}由来の電気（以下「再エネ電気」）の供給を3者共同で行うことといたしました。**

本取り組みは、GPSSが九州内（熊本県及び福岡県）で開発・建設した中小型の太陽光発電所の電気をUPDATERの脱炭素事業「みんな電力」が買い取り、再エネ指定の非化石証書の環境価値を組み合わせ、JR九州が保有する駅舎等へ再エネ電気の供給を行う計画です。今後も3者一同、引き続きCO₂排出量ゼロの実現に向けて取り組みを推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1 オフサイトコーポレートPPAとは、需要家主導で3者が一体となり、再生可能エネルギー導入を進めるUDAモデルの一つ。発電事業者が需要家の敷地外へ太陽光発電を設置・所有し、小売電気事業者を介して需要家が長期間・固定価格で再エネ電気の供給を受ける電力調達の方法。

※2 再生可能エネルギー由来の電気に、再生可能エネルギー指定の非化石証書の環境価値を組み合わせることで、再生可能エネルギー100%の電気を供給（CO₂排出量もゼロ）。

1 供給場所

JR九州 在来線及び新幹線駅舎等施設 18箇所

2 背景

JR九州は、2050年までにCO₂排出量実質ゼロを目指し、脱炭素社会の実現に挑戦しています。今般、経済産業省による令和5年度予算の補助事業「需要家主導太陽光発電導入促進事業」に採択^{※3}されたことを契機として、大規模な再エネ電気供給が可能なオフサイトコーポレートPPAを実施しました。

※3 補助事業は、発電事業者である「サステイナブルエネルギー1合同会社」により採択

3 導入規模

発電出力 3,982.1kW(DC)、2,953.3kW(AC) ※別紙
年間想定発電量 約485万kWh

4 対象場所のCO₂排出量削減量

年間2,041[t-CO₂]（一般家庭約788世帯分）

5 本件オフサイトコーポレートPPAのスキーム



サステイナブル
エネルギー1
合同会社



開発・建設

発電事業者



みんな電力

(UPDATER)

小売電気事業者

需要家(駅舎等施設に供給)



6 各社の概要

【九州旅客鉄道株式会社】

設 立	1987年4月1日
代 表 者	代表取締役社長執行役員：古宮洋二
所 在 地	福岡市博多区博多駅前3丁目25番21号
資 本 金	160億円
事 業 内 容	旅客鉄道事業、海上運送事業、旅客自動車運送事業 など
U R L	HP： https://www.jrkyushu.co.jp/ ESGに関する取り組み： https://www.jrkyushu.co.jp/company/esg/
今 回 の 役 割	再エネ電気を供給する需要家

【株式会社 UPDATER（旧：みんな電力株式会社）】

設 立	2011年5月25日
代 表 者	代表取締役：大石英司
所 在 地	東京都世田谷区三軒茶屋2丁目11番22号サントワーズセンタービル8階
資 本 金	14億797万8千円（資本準備金：21億4217万8千円） ※2024年3月31日現在
事 業 内 容	脱炭素事業「みんな電力」ほかウェルビーイング、生物多様性等のSXサービスを展開など
U R L	HP： https://www.updater.co.jp/ みんな電力 ： https://minden.co.jp/
今 回 の 役 割	再エネ電気を調達し託送する小売電気事業者

【GPSS ホールディングス株式会社】

設 立	2019年9月2日 (2012年10月26日に前身会社設立、2019年に当社設立し、持ち株会社化)
代 表 者	代表取締役：目崎雅昭
所 在 地	東京都港区芝2丁目5番10号芝公園NDビル6階
資 本 金	2億円
事 業 内 容	再生可能エネルギーに関わる開発・EPC・投資 など
U R L	HP： https://gpssgroup.jp/
今 回 の 役 割	再エネ発電所の開発・建設

今回開発した太陽光発電所について

サステイナブルエネルギー 1 天草太陽光発電所（熊本県天草市）

- 発電源の種類 : 太陽光
発電出力 : 2,444.9kW(DC) 1,940.8kW(AC)
年間想定発電量 : 3,006,811kWh
開発地 : 教育機関としての役割を終えた学校の敷地を再生可能エネルギーの供給拠点として再利用



サステイナブルエネルギー 1 田川川崎太陽光発電所（福岡県田川郡川崎町）

- 発電源の種類 : 太陽光
発電出力 : 1537.2kW(DC) 1012.5kW(AC)
年間想定発電量 : 1,845,630kWh
開発地 : 未利用地を活用し、再生可能エネルギーの発電施設として開発

